

令和6年度 第4次かほく市行政改革実施報告書

◎第4次かほく市行政改革実施計画書項目数 **52項目**

| | |
|--------------|-------------|
| ・令和6年度 実施項目数 | 38項目 |
| （うち目標達成項目数） | 30項目 |
| （うち目標未達成項目数） | 8項目 |

| | |
|---------------|-----------------------------|
| 令和6年度目標達成率 …… | 78.9% (30項目/38項目) |
|---------------|-----------------------------|

<令和6年度目標未達成項目一覧>

No.5 市民の健康づくりの機会創出

- ① 健康ポイント付与人数
- ② プラチナ体操参加人数
- ③ 教室満足度
- ④ 健康づくり事業
- ⑤ スポーツ実施率

No.7 専門的業務研修の実施

- ⑥ 研修機関への派遣
- ⑦ マニュアル整備・公開

No.13 市税等の収納率の向上

- ⑧ 介護保険料の普通徴収口座振替率

| | |
|--------------------------------|-------------|
| ・令和6年度 実施項以外の項目数 | 11項目 |
| （うち令和4年度までに実施済みの項目数） | 7項目 |
| （うち令和4年度までに実績検証した結果、不実施とした項目数） | 3項目 |
| （うち令和6年度に実績検証する項目数） | 1項目 |

| 重点項目 | 実施項目 | 主管課 | 達成状況及び実績報告必要年度 | | | | | |
|--------------|--------------------|------------|-------------------|----|----|----|----|----|
| | | | 項目 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| 1 市民サービス向上 | 1 情報公開の推進 | 総務課 | 開示請求方法の拡充 | ○ | ○ | ○ | - | - |
| | | 総務課 | 告示内容のHP公開 | ○ | ○ | ○ | - | - |
| | | 情報推進課 | HP更新 | ○ | ○ | ○ | - | - |
| | 2 パブリックコメント制度の推進 | 情報推進課 | HP・広報意見等公表 | ○ | ○ | - | - | - |
| | | 情報推進課 | 提出方法の検討 | ○ | ○ | - | - | - |
| | 3 定住促進の推進 | 企画振興課 | 住みよさ発信 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 4 一体的な子育て支援の充実 | こども家庭課 | 計画実施・推進 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | こども家庭課 | プラン実施・推進 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 5 市民の健康づくりの機会創出 | 健康福祉課 | ポイント付与人数 | × | × | × | × | × |
| | | 長寿介護課 | プラチナ体操参加人数 | × | × | × | × | × |
| | | 長寿介護課 | 介護知識等習得割合 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 長寿介護課 | 教室満足度 | × | × | ○ | ○ | × |
| | | 生涯学習課 | 受講者満足度 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 生涯学習課 | 健康づくり講座実施 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | スポーツ文化課 | 健康づくり実施事業 | × | × | × | × | × |
| | | スポーツ文化課 | スポーツ実施率 | ○ | × | × | × | × |
| | 6 機能的な組織の構築 | 総務課 | 窓口ワkstopp化WGによる検討 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 税務課 | | | | | | |
| | | 市民生活課 | | | | | | |
| | | 保険医療課 | | | | | | |
| | | 長寿介護課 | | | | | | |
| | | こども家庭課 | | | | | | |
| | 7 専門的業務研修の実施 | 総務課 | 研修機関への派遣 | × | × | × | × | × |
| 8 防災体制の強化 | 防災環境対策課 | 防災講座開催回数 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 防災環境対策課 | マニュアル整備・公開 | ○ | ○ | × | ○ | × | |
| 2 民間活力の積極的活用 | 9 窓口業務（住民票・証明発行業務） | 市民生活課 | 民間委託 | ○ | ○ | △ | - | - |
| | | 税務課 | 民間委託 | ○ | ○ | △ | - | - |
| | 10 CATV（制作・放送業務） | 情報推進課 | 民間活用洗い出し | ○ | ○ | ○ | - | - |
| | 11 公用車（管理・運転業務） | 総務課 | 民間委託 | ○ | ○ | △ | - | - |
| | | 健康福祉課 | 民間委託 | × | × | × | ○ | - |
| | | 長寿介護課 | 民間委託 | × | × | × | ○ | - |
| | | 学校教育課 | 民間委託 | ○ | ○ | × | ○ | - |

○第4次行政改革実施計画 項目一覧

| 重点項目 | 実施項目 | 主管課 | 達成状況及び実績報告必要年度 | | | | | | |
|----------------|------------------------|---------------|----------------|---------|----|----|----|----|---|
| | | | 項目 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | |
| 3 効率的な財政運営の確保 | 12 受益者負担/分担金の適正化 | 財政課 | サービス対価の適正化 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 情報推進課 | 実効対応策定 | ○ | ○ | ○ | - | - | |
| | 13 市税等の収納率の向上 | 税務課 | 現年度収納率 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 税務課 | 滞納繰越収納率 | × | ○ | × | ○ | ○ | |
| | | 税務課 | 啓発活動 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | こども家庭課 | 現年度収納率 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | |
| | | 保険医療課 | 国保税現年度収納率 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 保険医療課 | 普通徴収口座振替率 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 保険医療課 | 後期高齢現年度収納率 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 保険医療課 | 普通徴収口座振替率 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 長寿介護課 | 普通徴収口座振替率 | × | × | × | × | × | |
| | | 長寿介護課 | 普通徴収収納率 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 都市建設課 | 現年度家賃収納率 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 都市建設課 | 業者選定 | - | - | - | - | - | |
| | | 上下水道課 | 水道料現年度収納率 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 上下水道課 | 下水道料現年度収納率 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 上下水道課 | 受益者負担金現年度収納率 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 学校教育課 | 給食費現年度収納率 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 14 新たな財源制度の確保 | 財政課 | 税外収入の検証 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | 財政課 | 対象案件の検証 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 4 事務事業の継続的な見直し | 15 人事評価に基づく効果的で適正な人員管理 | 総務課 | 目標達成の割合 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 16 定員管理の適正化 | 総務課 | 計画策定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 総務課 | 事務分担明確化 | - | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 17 事務事業の整理合理化 | 情報推進課 | 導入業務選定等 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 総務課 | 業務マニュアル見直し | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

重点項目： 1 . 市民サービス向上

| 実施項目 【主管課】 | 実施内容 | R6年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】 | 実施スケジュール（年度） | | | | | | | | | | 結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】 | | |
|-----------------------------|--|---------------------------|----------------|-------------|----|----|----------|----|----|------|----|----|---------------------------------------|----|--|
| | | | 項目 | R2 | 評価 | R3 | 評価 | R4 | 評価 | R5 | 評価 | R6 | | 評価 | |
| 1 情報公開の推進 【総務課】 | ・公文書開示請求の電子申請を可能とするとともに、請求内容の概要とその開示の可否について結果をHPで公開する。 | | 開示請求方法の拡充 | 条例・HP等整備の検討 | ○ | | 条例・HP等整備 | ○ | | 運用開始 | ○ | - | | - | |
| | ・市役所庁舎前にある掲示場（告示板）の内容をHPにて公開する。 | | 告示内容のHP公開 | 公開範囲の検討 | ○ | | HP整備 | ○ | | 運用開始 | ○ | - | | - | |
| | 【情報推進課】 | ・HPの構成等の全面的な見直しを行う。 | HP更新 | 検討 | ○ | | 改修 | ○ | | 運用 | ○ | - | | - | |
| 2 パブリックコメント制度の推進 【情報推進課】 | ・パブリックコメントに対する意見のHP上等での公表に加え、提案箱などにより市へ寄せられた意見についても、回答をHPで公開するとともに内容を集計し、広報へ掲載することを検討する。 | | HP及び広報での意見等の公表 | 検討 | ○ | | 実施 | ○ | | - | | - | | - | |
| | ・意見募集方法についてより一層市民の皆様からの意見の提出方法を簡単にできるように検討する。 | | 提出方法の検討 | 検討 | ○ | | 実施 | ○ | | - | | - | | - | |

重点項目： 1 . 市民サービス向上

| 実施項目 【主管課】 | 実施内容 | R6年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】 | 実施スケジュール（年度） | | | | | | | | | | 結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】 | |
|-----------------------------------|---|--|---------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----------------------------------|----|
| | | | 項目 | R2 | 評価 | R3 | 評価 | R4 | 評価 | R5 | 評価 | R6 | | 評価 |
| 3 定住促進の推進 【企画振興課】 | ・若年層の定住を図るため、効果的な各種定住促進事業を検討、実施するとともに、市の住みよさを効果的に発信する。 | <p>◆新婚さん住まい応援事業 申込件数：91件（R5：65件） 市民生活課と協力し、転入してきた新婚世帯へチラシを配布することで制度を周知したほか、市HPやSNSを活用し広くPRした。</p> <p>◆若者マイホーム取得奨励金 申込件数：206件（R5：194件） 若者マイホーム取得奨励金制度リーフレットを新婚さん住まい応援事業活用者へ配布したほか、市HPや各種メディアを活用し広くPRした。</p> <p>◆UIJターン住まい補助金 申込件数：6件（R5：10件） ILACやふるさと回帰支援センターと連携し、県外からの移住者を獲得するため情報発信を行った。</p> | 住みよさの発信 | 実施 | ○ | → | ○ | → | ○ | → | ○ | → | ○ | |
| 4 一体的な子育て支援の充実 【こども家庭課】 | <p>・令和2年度からの第2期かほく市子ども・子育て支援事業計画に基づき、関係各課と連携し、一体的な子育て支援を実施する。</p> <p>・定住促進効果等により増加する乳幼児・児童に対応する為、更なるこども園や学童保育クラブの受け入れ体制強化策の検討を行う。</p> | <p>第2期子ども子育て支援事業計画に掲げる施策に基づき、支援を実施した。</p> <p>①「地域における子育て支援の充実」に基づき一体的な子育て支援を実施した。 また、国のこども家庭庁移行に対応するため、R6年度から「こども家庭センター」を設立し、困りごとを抱える家庭の早期発見、早期支援を行っている。</p> <p>②「多様化するニーズへの取組」として、高校生通学定期券助成制度をR5年度より引き続き実施しており、高校進学のために市外へ通学を余儀なくされる家庭への経済的支援に努めた。</p> <p>【通学定期券助成】 ・助成実績 人 数：791人/938人（84.3%） 助成額：29,322,000円</p> | 子ども・子育て支援事業計画の実施・推進 | 実施 | ○ | → | ○ | → | ○ | → | ○ | → | ○ | |

重点項目： 1 . 市民サービス向上

| 実施項目 【主管課】 | 実施内容 | R6年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】 | 実施スケジュール（年度） | | | | | | | | | | | 結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】 |
|--------------------------------|---|---|---------------|----|----|----|----|----|----|----|----|--------|----|--|
| | | | 項目 | R2 | 評価 | R3 | 評価 | R4 | 評価 | R5 | 評価 | R6 | 評価 | |
| 【こども家庭課】 | ・妊産婦・乳幼児等の状況を把握し、支援が必要なケースに医療機関や児童福祉等の関係機関と連携を図り継続的包括的に支援を行う。 | 母子手帳交付時の面接：330件（R5：280件） 妊婦訪問：11件（R5：7件） 産婦・新生児訪問：288件（R5：297件） 幼児訪問：10件（R5：8件） 母子保健事例検討会：6回（R5：5回） 要対協進行管理会議への出席：6回（R5：6回） 個別ケース検討会：7回（R5：10回） 個別面接・訪問を実施し、育児に関する相談に応じることができた。 係の配置換えにより、母子保健係と児童福祉係の相談支援機能がこども家庭センターに集約され、細やかな支援サービスにつながった。 | 健康プラン21の実施・推進 | 実施 | ○ | → | ○ | → | ○ | → | ○ | → | ○ | |
| 5 市民の健康づくりの機会創出 【健康福祉課】 | ・健康プラン21を基に、健康ポイント等を活用した健康における知識の啓発、健康ウォーキング等を推進する。 ※H29年度活動量計活用型ウォーキング・健康ポイントラリー参加実人数1,200人 | H28年度より看護大学・イオンとの連携による「か歩くウォーキング事業」を継続した。参加方法として、従来の活動量計に、いしかわスポーツマイレージを加え、416人（新規50人）が参加した。 健康ポイントラリー事業については、全11回延べ782人の参加となった。 | 健康ポイント付与人数 | → | × | → | × | → | × | → | × | 1,500人 | × | 健康レッスンははじめとする集団形式の教室は、前年度より参加者が増加した。ウォーキングやスマートフォンを活用した健康づくりは、感染症対策や時代に即した健康づくりとして有用であるため、今後も継続実施し、個人の取り組みを促す環境整備の推進を図る。 |
| 【長寿介護課】 | ・地域における住民主体の介護予防活動の育成・支援を行う。 | R6年度は新たに2グループが立ち上がり、市内44か所でプラチナ体操が実施されている。プラチナ体操の前身である百歳体操を開始してから10年が経過したことから、プラチナ体操10周年記念交流会を開催し、602人の参加があった。これを契機にさらに参加者数や介護予防サポーターが増えることを期待したい。また、体操グループの男女比は2：8であり、男性の参加者が少ないことから、今後の担い手確保や男性参加者の増加を目的に、男性のための介護予防講座を行った。運動・栄養・社会参加が同時に行うことができ、参加者はとても楽しかったと好評であった。 | 「プラチナ体操」参加人数 | → | × | → | × | → | × | → | × | 1,000人 | × | 高齢者数の減少、特に前期高齢者の減少により参加者が伸び悩み、目標を下回った。しかしながら、10周年記念交流会や男性のための介護予防講座を契機に参加者が増加傾向にあり、今後また参加者が増えるよう事業を展開していきたい。 |

重点項目： 1 . 市民サービス向上

| 実施項目 【主管課】 | 実施内容 | R6年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】 | 実施スケジュール（年度） | | | | | | | | | | 結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】 | | |
|---------------|--|--|----------------------|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----------------------------------|-------|---|
| | | | 項目 | R2 | 評価 | R3 | 評価 | R4 | 評価 | R5 | 評価 | R6 | | 評価 | |
| 【長寿介護課】 | ・介護者教室を開催し、介護の知識や介護力の向上、介護者間の交流の機会を確保する。 | <p>【家族介護者教室】</p> <p>適切な介護知識や技術の習得、介護サービスの適切な利用方法の確認等を目的とした教室を開催することにより、要介護被保険者の状態の維持・改善を図るとともに、家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。</p> <p>①R6. 6. 26「介護する上でのお薬のこと・薬剤師のこと」7人参加 ②R6. 8. 28「身体介護について」7人参加 ③R6. 9. 20「認知症の方への関わり方の講話・座談会」15人参加 ④R6. 11. 21「自分や家族のための看取りについて・座談会」5人参加</p> <p>ほのぼの健康館や高松産業文化センター、特別養護老人ホームあかしあ荘で実施。開催にあたり、広報紙、市公式LINE、声かけ等で周知を行った。 男性介護教室については、家族介護教室に含めての開催とした。</p> <p>【家族介護者交流教室】</p> <p>在宅で介護している家族に対して、介護から一時的に解放できるように、介護者相互の交流会を開催し、心身の元気回復（リフレッシュ）ができるよう支援した。 R6. 10. 28 「コーヒーの楽しみ方・茶話会」5人参加</p> | 介護知識・技術を習得したと答えた人の割合 | 80.0% | ○ | 80.0% | ○ | 80.0% | ○ | 80.0% | ○ | 80.0% | ○ | 88.5% | 相談業務などをするなかで、介護者が抱えている困り事について分析し、介護者教室の内容を検討していく。 |
| | | | 教室に満足したと答えた人の割合 | 90.0% | × | 90.0% | × | 90.0% | ○ | 90.0% | ○ | 90.0% | × | 84.6% | |

重点項目： 1 . 市民サービス向上

| 実施項目 【主管課】 | 実施内容 | R6年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】 | 実施スケジュール（年度） | | | | | | | | | | 結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】 | | |
|---------------|--|--|----------------------|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----------------------------------|--|--|
| | | | 項目 | R2 | 評価 | R3 | 評価 | R4 | 評価 | R5 | 評価 | R6 | | 評価 | |
| 【生涯学習課】 | <p>・市民の学習の場として開校している「かほく市民大 学校」において、健康づく りをテーマとする学習機会 を提供する。</p> <p>・「かほく市出前講座」に ついて、引き続き講座の分 類に健康づくりに関する講 座メニューを設ける。</p> | <p>【具体的な実施内容】 （生涯学習、出前講座等） 市民や各種団体の生涯学習推進、行政の情報を発信する機会として、生涯学習講座や、出前講座メニューを準備して開催した。生涯学習講座については、人気のあったテーマを連続講座としてシリーズ化を図り、展開した。出前講座については、コロナ禍前並みの開催数となった。</p> <p>（アンケート実施） 生涯学習各講座開催時にアンケートを実施し、感想や評価、希望講座等を分析した。また、アンケート結果を踏まえ、翌年度の講座開催に反映し、さらに魅力的な講座開催に努めた。</p> <p>（情報発信） 市HP、いいメールかほく、LINE公式アカウントの活用のほか、チラシを生涯学習施設へ配付するなど、講座開催の情報発信と参加者募集に努めた。 学校・保護者間連絡システム「コドモン」について、各種講座情報の発信媒体の一つとして活用した。</p> | 受講者満足度 | 80.0% | ○ | 80.0% | ○ | 80.0% | ○ | 80.0% | ○ | 80.0% | ○ | 81.7% | |
| | | | 健康づくり関連講座の実施 | 実施数 | ○ | → | ○ | → | ○ | → | ○ | → | ○ | 13個 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【スポーツ文化課】 | <p>・市民体カテストをはじめとして、石川県立看護大学等との連携事業を継続・拡充し、更なる地域住民の健康づくりを推進する。</p> <p>・子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できるニュースポーツイベントを開催し、健康で生きがいを感じる機会の充実に努め、市民の健康・体力の増進を図る。</p> | <p>R6年度はスポーツコミッションかほくへの委託により市民体カテストを実施した。</p> <p>コロナ前まで年3回実施していたスポレクサーキット大会を見直し、幅広い世代にプラススポーツやニュースポーツを提供するため、スポーツ体験会や市民交流大会の開催を予定していた。市民交流大会（ペタンク）は1回開催できたが、スポーツ体験会は震災の影響により開催できなかった。</p> | 健康づくり実施事業 | → | × | → | × | → | × | → | × | 3事業 | × | 震災からの復旧・復興が進むにつれ、市民のスポーツへの参加意欲も高まっていくものと思われるため、看護大学や地域スポーツクラブと連携し、機会の創出に繋げたい。 | |
| | | | 市民（成人）の週1回以上のスポーツ実施率 | → | ○ | → | × | → | × | → | × | 70.0% | × | 令和6年4月より、「第3期かほく市教育振興基本計画」に基づく取り組みを行っている。計画の中で数値目標項目を「障害者の週一回以上のスポーツ実施率（目標値：40%）」としているため、当該調査は未実施となった。 | |

重点項目： 1 . 市民サービス向上

| 実施項目 【主管課】 | 実施内容 | R6年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】 | 実施スケジュール（年度） | | | | | | | | | | 結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】 | | |
|--|---|--|------------------------------|---------------------|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|-----------------------------------|--|--|
| | | | 項目 | R2 | 評価 | R3 | 評価 | R4 | 評価 | R5 | 評価 | R6 | | 評価 | |
| 6 機能的な組織の構築 【総務課】 【税務課】 【市民生活課】 【こども家庭課】 【保険医療課】 【長寿介護課】 | ・関係各課によるワーキンググループを立ち上げ、その調整を行う。係ごとの業務を洗い出し、横断的業務や重複・類似業務の集約の検討を行う。 | 死亡に伴う手続を一元化して行う「おくやみコーナー」を、令和3年4月1日より運用している。 「おくやみコーナー」利用実績 予約あり：300件（R6：306件） 予約なし：127件（R6：122件） | ワーキンググループによる検討 | 設置 | ○ | → | ○ | → | ○ | → | ○ | まとめ | ○ | | |
| 7 専門的業務研修の実施 【総務課】 | ・国、県の専門研修機関を利用し、職員が専門的知識、技術を身につける。 【研修機関】 ・県市町村職員研修所 ・総務省自治大学校 ・市町村アカデミー ・国際文化アカデミー | 職員に対し、各研修機関への専門研修を募集し、市町村アカデミー（市町村税徴収事務）に1人参加した。 | 国の研修機関への派遣 | 3人 | × | 3人 | × | 3人 | × | 2人 | × | 2人 | × | 近年、育児休業等職員の増加により、実働職員が少ないため、長期間にわたる研修の参加が難しくなっていることから、実働職員数を増やすなど抜本的な対策が必要である。 | |
| 8 防災体制の強化 【防災環境対策課】 | ・拠点避難所（市内9小中学校）の施設状況に合わせた運営マニュアルの見直しを行うほか、各種ハザードマップについても国・県からの区域変更の情報を適宜反映させて見直しを行い、様々な機会を捉えて防災士を始めとした市民に周知する。 ・拠点避難所ごとにマニュアルを整理し、ホームページに公開する。 | 学童保育クラブや市内の各小中学校で防災講座を実施した。また、県が主催する研修会にも毎回多くの方が参加した。対面開催の形式が多かったが、一部で動画配信サービスを活用したものもあった。 能登半島地震発災により、市内全体で自主防災組織連絡協議会が機能しなかった。この反省から、まずはマニュアルを整備するよりも地域の自主防災会と意見を交換し、地域主体で避難所運営委員会や防災訓練等を実施していくことを優先したため、マニュアルを整理し、ホームページに公開するまでには至らなかった。 | 防災講座の開催回数 マニュアルの整理・公開 | 10回 整理 検討 | × | 10回 | ○ | 10回 | ○ | 10回 | ○ | 10回 | ○ | × | 自主防災組織連絡協議会と防災士会が一体的に連携して体制づくりを見直していく方向づけはできたので、R7年度では拠点避難所ごとのマニュアルを地域の方々と一緒に整備して情報共有できるようにする。 |

重点項目： 2. 民間活力の積極的活用

| 実施項目 【主管課】 | 実施内容 | R6年度実績及び効果 【具体的な実績内容】 | 実施スケジュール（年度） | | | | | | | | | | 結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】 | |
|--|---|--------------------------|----------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---------------------------------------|----|
| | | | 項目 | R2 | 評価 | R3 | 評価 | R4 | 評価 | R5 | 評価 | R6 | | 評価 |
| 9 窓口業務（住民票・ 証明発行業務） 【市民生活課】 【税務課】 | ・民間活力を利用すること によるメリット、デメリット 等を調査検討し、委託可 能な業務について委託す る。 | | 民間委託 (住民票) | 検討 | ○ | → | ○ | 実施 | △ | － | | － | | |
| | | | 民間委託 (各種証明) | 検討 | ○ | → | ○ | 実施 | △ | － | | － | | |
| 10 CATV（制作・放 送業務） 【情報推進課】 | ・撮影および編集業務委託 の拡大 ・新サービス対応機器の共 有推進 ・有識者による番組審議 | | 民間活用 の洗い出 し・実施 | 検討 | ○ | → | ○ | 実施 | ○ | － | | － | | |
| 11 公用車（管理・運転 業務） 【総務課】 | ・公用車のメンテナンスや 消耗品等の更新等を含めた 一括委託の検討を行う。 | | 民間委託 | 検討 | ○ | → | ○ | 実施 | △ | － | | － | | |

重点項目： 2. 民間活力の積極的活用

| 実施項目 【主管課】 | 実施内容 | R6年度実績及び効果 【具体的な実績内容】 | 実施スケジュール（年度） | | | | | | | | | | | 結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】 |
|---------------|---|--------------------------|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----------|----|----|---------------------------------------|
| | | | 項目 | R2 | 評価 | R3 | 評価 | R4 | 評価 | R5 | 評価 | R6 | 評価 | |
| 【健康福祉課】 | ・現状、福祉巡回バスは運 転業務のみ外部（シルバー 人材センター）に委託して いるが、車両の維持管理、 運行管理、ルートの見直し 等、行政が処理している業 務も包括的に外部委託す る。 | | 民間委託 | 検討 | × | → | × | 実施 | × | 検討 | ○ (△) | － | | |
| 【長寿介護課】 | ・老人福祉センター等のバ スの運行や管理業務の民営 化について検討を行う。 | | 民間委託 | 検討 | × | → | × | 実施 | × | 検討 | ○ (△) | － | | |
| 【学校教育課】 | ・スクールバス及び学校給 食センター配送業務を民間 委託する。 | | 民間委託 | 検討 | ○ | → | ○ | 実施 | × | 検討 | ○ (△) | － | | |

重点項目： 3. 効率的な財政運営の確保

| 実施項目 【主管課】 | 実施内容 | R6年度実績及び効果 【具体的な実績内容】 | 実施スケジュール（年度） | | | | | | | | | | 結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】 | | | |
|---------------------------|--|--|--------------|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|---------------------------------------|-------|---|-------|
| | | | 項目 | R2 | 評価 | R3 | 評価 | R4 | 評価 | R5 | 評価 | R6 | | 評価 | | |
| 12 受益者負担/分担金の適正化 【財政課】 | ・ 公共施設の使用料や各事業において負担いただいている受益者負担金について、利用者負担の原則に基づき適正に反映させる。 | ・ 下水道使用料の改正に向け、所管課と調査研究を進めた。 ・ 国民健康保険税率の改正に向け、主管課と協議し、条例改正を行った。 | サービス対価の適正化 | 検討 | ○ | → | ○ | → | ○ | → | ○ | → | ○ | | | |
| 13 市税等の収納率の向上 【情報推進課】 | ・ ケーブルテレビ使用料の未納に対する実効的な対応策を策定する。 ・ 滞納者宅への書面及び電話に加え訪問による催告を実施する。 | | 実効的対応策の検討・策定 | 検討 | ○ | → | ○ | 策定 | ○ | - | | - | | | | |
| 【税務課】 | ・ コールセンターとの連携を図り、現年度未納分に対する早期電話催告を行う。 | 納税コールセンター委託業務について、現年度分未納者を調査集約し、連携を図りながら電話催告を実施することで現年度分の滞納防止につなげた。 ・ 依頼件数1,148件 内納付承諾件数49件（4.2%） 【現年度収納率実績数値】 R2：99.08% R3：99.43% R4：99.41% R5：99.09% R6：99.43% 調定：4,383,956,888円 収入：4,266,323,201円 | 現年度収納率 | 98.9% | ○ | 98.9% | ○ | 98.9% | ○ | 98.9% | ○ | 98.9% | ○ | 99.1% | ○ | 99.5% |

重点項目： 3. 効率的な財政運営の確保

| 実施項目 【主管課】 | 実施内容 | R6年度実績及び効果 【具体的な実績内容】 | 実施スケジュール（年度） | | | | | | | | | | 結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】 | |
|---------------|--|---|--------------|-------|-----------|-------|------------|-------|-----------|-------|------------|-------|---------------------------------------|----|
| | | | 項目 | R2 | 評価 | R3 | 評価 | R4 | 評価 | R5 | 評価 | R6 | | 評価 |
| | ・長期にわたる悪質な滞納者に対し、厳正に対処するため搜索等の滞納処分を実施し、処分不可能な事案には速やかに執行停止を行い、メリハリのある滞納整理を行う。 | <p>県滞納整理機構と連携し、効率的に滞納処分を実施。定期的に、滞納整理状況の進捗具合を見直し、速やかに滞納処分を実施するとともに、処分不可能なものは執行停止をし、滞納額の圧縮につなげた。</p> <p>【滞納繰越分収納率実績数値】 R2：14.65% R3：17.02% R4：8.46% R5：26.83% R6：37.00% 調定：93,242,421円 収入：34,501,237円</p> | 滞納繰越分収納率 | 14.7% | × | 15.7% | ○ 17.0% | 15.7% | × | 15.7% | ○ 26.8% | 15.7% | ○ 37.0% | |
| | ・イベントや学校への租税教室を通じて納税に関する啓発活動を行う。 | <p>租税教室を市内小学校を対象に実施した。授業後には、授業を受けての質問が寄せられるなど、税への関心と理解を深めることができた。</p> <p>また、中学校の社会科授業の一環として税分野の講師派遣をし、授業や生徒との質疑応答を通じて税への知識と、なぜ税金が必要なのかなどを考えるきっかけとすることができた。</p> <p>【租税教室開催実績】 ・令和6年6月12日 七塚小学校 ・令和6年7月5日 宇ノ気小学校</p> <p>【講師派遣実績】 ・令和6年5月8日 大海小学校 ・令和6年5月28日 外日角小学校 ・令和6年7月9日 高松中学校</p> | 啓発活動の実施 | 実施 | ○ | 実施 | ○ | → | ○ | → | ○ | → | ○ | |
| 【こども家庭課】 | ・保育料に係る未納額が少額のうち早期に滞納者へ納付を促す。また、高額滞納者などに対しては税務課と連携し、分納誓約や法的手続きを進める。 | <p>・各こども園での園長から定期的な保育料納入の声かけを行い、滞納額の発生を未然に防いだほか、長期滞納者については、担当課職員により定期的な納入案内を行った。</p> <p>【R6保育料】令和7年5月31日現在（現年度） ・調定額：76,105千円 収納額：76,105千円（100%）</p> | 現年度収納率 | 100% | ○ 100% | 100% | ○ 100% | 100% | ○ 100% | 100% | × | 100% | ○ 99.9% | |

重点項目： 3. 効率的な財政運営の確保

| 実施項目 【主管課】 | 実施内容 | R6年度実績及び効果 【具体的な実績内容】 | 実施スケジュール（年度） | | | | | | | | | | 結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】 | | |
|---------------|---|--|-------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------------------|---|---|
| | | | 項目 | R2 | 評価 | R3 | 評価 | R4 | 評価 | R5 | 評価 | R6 | | 評価 | |
| 【保険医療課】 | <ul style="list-style-type: none"> ・現年度収納率を上げるために口座振替を推進する。 ・現年度収納率を上げるためには、新規滞納者の発生を防止することが重要であることから、関係課とも連携を図りながら次の事項を実施する。 ・督促状の送付 ・コールセンター等を活用した電話催告や文書による催告 ・納付相談や臨戸 ・納税等の意思のない方には滞納処分 | 現年度収納率実績数値 R4：98.12% R5：96.36% R6：96.93% 調定：577,728,300円 収入：560,035,002円 | 国民健康保険税 現年度収納率 | 95.0% | ○ | 95.0% | ○ | 95.0% | ○ | 95.0% | ○ | 95.0% | ○ | | |
| | | 普通徴収口座振替率 | 70.0% | ○ | 70.0% | ○ | 70.0% | ○ | 70.0% | ○ | 70.0% | ○ | 70.0% | | ○ |
| | | 後期高齢者医療保険 現年度収納率 | 99.5% | ○ | 99.5% | ○ | 99.5% | ○ | 99.5% | ○ | 99.5% | ○ | 99.5% | | ○ |
| | | 普通徴収口座振替率 | 90.0% | ○ | 90.0% | ○ | 90.0% | ○ | 90.0% | ○ | 90.0% | ○ | 90.0% | | ○ |
| 【長寿介護課】 | <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料に係る新規滞納者の早期対応を強化する。 ・65歳到達時期 ・年金特徴から普通徴収への切替時 | 督促状および催告書を送付することで、滞納にならないよう注意喚起した。また、電話や訪問での催告を随時行った。滞納になっても早期の段階で対応ができ大口滞納者の発生を防げた。 | 普通徴収口座振替率 | 34.0% | × | 34.0% | × | 34.0% | × | 34.0% | × | 34.0% | × | 新規で普通徴収対象になった方へ口座振替依頼書を同封し、口座振替を促進する他、納付相談に来た方へ口座振替を促すことで納め忘れを防止する。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・料金徴収事務がある他課との情報共有を強化する。 | 税務課と常に情報を共有、業務連携することで、窓口の一元化、漏れのない対応ができた。 | 普通徴収 収納率 | 90.5% | ○ | 90.5% | ○ | 90.5% | ○ | 90.5% | ○ | 90.5% | ○ | | |
| 【都市建設課】 | <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者との連携を維持し、市営住宅の家賃（滞納分含む）徴収の強化に努めるとともに、請負者の更新時に家賃徴収体制等も選定基準に加え業者選定を行う。 | R6年度分の収納率は99.7%であった。 調定額：61,781,600円 収入額：61,596,950円 | 現年度家賃 収納率 | 99.0% | ○ | 99.0% | ○ | 99.0% | ○ | 99.0% | ○ | 99.0% | ○ | | |
| | | 一部世帯で滞納となったが、指定管理者と密に連携をとったことにより、目標を達成できた。 | 業者選定 | — | | — | | — | | — | | 選定 | | | |

重点項目： 3. 効率的な財政運営の確保

| 実施項目 【主管課】 | 実施内容 | R6年度実績及び効果 【具体的な実績内容】 | 実施スケジュール（年度） | | | | | | | | | | 結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】 | | | |
|----------------------------|---|--|--------------|-------|------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|------------|-------|---------------------------------------|----|-------|-------------|
| | | | 項目 | R2 | 評価 | R3 | 評価 | R4 | 評価 | R5 | 評価 | R6 | | 評価 | | |
| 【上下水道課】 | <ul style="list-style-type: none"> 上下水道料金については、滞納額を増やさないうえ、また、滞納したまま市外へ転出しないよう、毎月給水停止を実施する。 受益者負担金については、一括報奨金制度の周知徹底と、ボーナス支給月の職員一斉電話催告と戸別訪問を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> 上下水道料金については、滞納額を増やさないうえ、また、滞納したまま市外へ転出しないよう、毎月給水停止を実施した。 受益者負担金については、一括報奨金制度の周知徹底を徹底した。 | 水道料現年度収納率 | 98.6% | ○ 98.8% | 98.6% | ○ 98.9% | 98.6% | ○ 99.1% | 98.6% | ○ 98.9% | 98.6% | ○ 98.7% | | | |
| | | | 下水道使用料現年度収納率 | 98.9% | ○ 99.0% | 98.9% | ○ 99.0% | 98.9% | ○ 99.0% | 98.9% | ○ 99.0% | 98.9% | ○ 99.0% | | 98.9% | ○ 99.0% |
| | | | 受益者負担金現年度収納率 | 98.0% | ○ 99.3% | 98.0% | ○ 100.0% | 98.0% | ○ 100.0% | 98.0% | ○ 99.9% | 98.0% | ○ 100.0% | | 98.0% | ○ 100.0% |
| 【学校教育課】 | <ul style="list-style-type: none"> 学校と連携し、給食費の徴収体制の強化を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 現年度収納実績数値 99.9% 調定：144,583,898円 収入：144,490,478円 | 給食費現年度収納率 | 99.5% | ○ 99.9% | 99.5% | ○ 99.9% | 99.5% | ○ 99.9% | 99.5% | ○ 99.9% | 99.5% | ○ 99.9% | | | |
| 14 新たな財源制度の確保 【財政課】 | <ul style="list-style-type: none"> 他自治体で導入されている税収以外の様々な財源について、かほく市における実施可能性を探るほか、独自の財源創出を検討する。 | <ul style="list-style-type: none"> 先進市町の事例について調査・研究を行った。 | 税外収入の検証 | 事例収集等 | ○ | ○ | ○ | → | ○ | → | ○ | → | ○ | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 公民連携など民間活力を積極的に取り入れることにより、財源・資産の有効活用を図ることが可能となる。 | <ul style="list-style-type: none"> かほく市総合体育館の建設や運営に係る事業者と連携を図り、令和6年4月にオープンした。オープン後はSVリーグやオールスターゲームの開催などによる大きな集客があった。 【かほく市総合体育館利用者数】 R6:154,108人 引き続きかほくくるの運営を委託しており、入場者数も堅調に推移している。 【かほくくる利用者数】 R1: 6,766人（旧金津体育館利用者） R3: 62,563人 R4: 95,708人 R5:102,788人 R6:109,077人 | 対象案件実施可能性の検証 | 検証 | ○ | ○ | ○ | → | ○ | → | ○ | → | ○ | | | |

重点項目： 4. 事務事業の継続的な見直し

| 実施項目 【主管課】 | 実施内容 | R6年度実績及び効果 【具体的な実績内容】 | 実施スケジュール（年度） | | | | | | | | | | 結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】 | | | | |
|------------------------------------|--|---|-----------------------|--------|----|----------|----|---------|----|-------|----|-------|---------------------------------------|-------|---|-------|--|
| | | | 項目 | R2 | 評価 | R3 | 評価 | R4 | 評価 | R5 | 評価 | R6 | | 評価 | | | |
| 15 人事評価に基づく効果的で適正な人員管理 【総務課】 | <ul style="list-style-type: none"> ・年度始めの期首面談により、組織目標、個人目標等を明確にし、認識の共有化を図る。 ・人事評価制度については、中間評価、期末評価の2回に分けて実施、それぞれの結果を勤労手当に反映される。総合評価については、職員の昇給に反映する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新任評価者に対して、研修を行い、制度の趣旨を再確認するとともに、評価者として目標管理による業績評価及び能力評価の共通した技術を学び、人事評価についての組織内における認識の共有化を図った。 ・定期的に評価者に対し、研修を行うとともに、検討委員会の意見を踏まえながら、人事評価制度の客観性・納得性・透明性・信頼性の確保に努めていくことが、能力・実績に基づく効果的な人事管理に繋がる。 | 職員が自ら定めた目標を達成できた項目の割合 | 90.0% | ○ | 97.0% | ○ | 98.8% | ○ | 93.8% | ○ | 95.3% | ○ | 90.0% | ○ | 95.6% | |
| 16 定員管理の適正化 【総務課】 | <ul style="list-style-type: none"> ・定年引上げを見据え、再任用制度による再雇用者を適正に配置できるように仕組みを構築する。 ・行政サービスの多様化、専門化に伴い一般事務職とは別に専門的な知識を有した専門職を必要に応じ配置し、一般職とのバランスを図る。 ・会計年度任用職員の数、業務等を明確にし、全体での適正な職員数を把握する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・定年引上げによる職員の年齢構成の高齢化や職員の育児休業の増加による実働人員不足の懸念があったため、令和5年度末に第5次かほく市定員適正化計画を見直し。本市の特性・実情に応じた定員管理に取り組むことができた。 ・会計年度任用職員については、各課の任用計画書に基づき、任用数ヒアリングで各課の意見を聴取し、非正規職員との事務分担を分け、業務量と人数とのバランスを図った。 | 定員適正化計画の検証・策定 | 適正化検証 | ○ | 適正化検証 | ○ | 適正化検証 | ○ | 適正化検証 | ○ | 適正化検証 | ○ | 適正化検証 | ○ | | |
| | | | 非正規職員との事務分担の明確化 | — | | 分析 | ○ | 検証 | ○ | 運用 | ○ | → | ○ | | | | |
| 17 事務事業の整理合理化 【情報推進課】 | <ul style="list-style-type: none"> ・RPA及びAI導入の可能性や必要性を検証したうえで効果的に導入を行う。 ・先進事例調査・研究 ・職員向けに周知 ・かほく市にとって導入効果が高いと思われる業務の選定 | <ul style="list-style-type: none"> ・庁内DX推進PTにおいて、ローコードツールの導入について検討を実施した。 ・RPAツールについては、ランニングコストがかからないものに移行することができた。 | 導入対象業務の選定及び導入検証 | 職員向け周知 | ○ | 導入候補業務選定 | ○ | まとめ（検証） | ○ | → | ○ | → | ○ | → | ○ | | |
| 【総務課】 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員定数削減及び制度の複雑化により、人事異動等の際の業務引継ぎが困難となっていることから、事務処理マニュアルの見直しを行い、内容の充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事務処理マニュアルはその内容に変更があった場合は更新するよう職員に周知し、誰でも閲覧ができるよう庁舎内のサーバーに保存している。 ・R6年度については前年度に引き続き各課のマニュアルに併せ、職員全体や複数課に跨る各種マニュアルについても更新した。 | 事務処理マニュアルの充実 | 現状分析 | ○ | 更新 | ○ | → | ○ | → | ○ | → | ○ | → | ○ | | |